

2. 指標設定

成果指標	指標名	食育の推進		目標年度	H27				指標の設定理由			
	数値	—			食育計画に基づき、食育を推進するための事業を充実させていく							
活動指標	指標	a	食生活改善推進員数	b	講習会の開催回数	c		d				
	数値	目標	5年間で50人会員を増やす	目標	120回	目標		目標				

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
食育の推進		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 食生活改善推進員数	人	28 人	16 人	18 人
		92.0 %	124.0 %	160.0 %
b 講習会の開催回数	回	126 回	138 回	137 回
		105.0 %	115.0 %	108.3 %
c				
d				

4. 課題と対応

課題
講演会等を通じ食育に対する啓発を行っているが、十分に市民に伝わっていない
対応（改善点等）
PTA、学校教育関係団体、関係機関との連携を図る

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

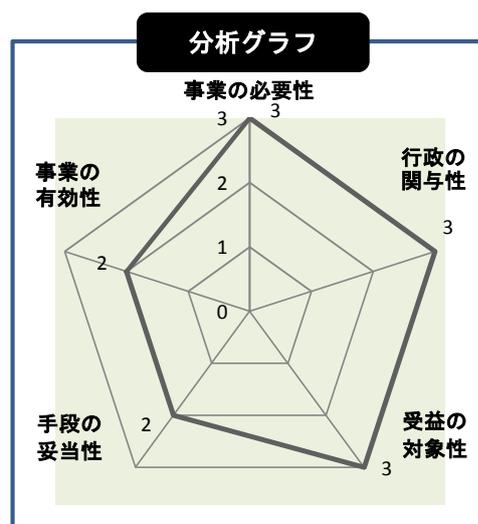
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
うち経常経費		637	596	1,279	1,000
財源内訳	国費		19		50
	県費			411	
	市債				
	その他				
	一般財源	637	577	868	950
うち経常		637	577	868	950
事業費に係る人件費		8,533	8,759	2,150	2,147

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
食育推進計画に沿って事業を推進する必要があるため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市の食育推進計画をH21年度に策定しており、計画に沿って今後も事業の推進が必要
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 国の食育基本法に従い、豊後大野市食育推進計画を21年度に策定
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 全市民を対象に啓発活動を進めているため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 アンケート結果では、食育の周知度が徐々に高まっているが、今後さらなる関係課との連携が必要である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 市民への啓発がまだ不十分で、今後関係課との連携した事業の取り組みが必要



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	関係機関との連携を強化し、事業効果の向上策を協議すること。